

審 議 結 果

会 議 名	令和7年度 第1回 川口市立科学館運営審議会
開 催 日 時	令和7年7月9日（水）午前10時7分から12時50分まで
開 催 場 所	SKIPシティA1棟1F多目的室 （所在地：川口市上青木3-12-18（SKIPシティ内））
出 席 者	渡邊会長・郡副会長・星野委員・高橋委員・河口委員・功刀委員・吉岡委員・永瀬委員・小石委員・田實委員 （事務局） 秋葉教育総務部長・荒井館長・久保田主幹・白藤副館長・廣戸副主幹・石山副主幹・鈴木主査・新井主任
議 題	(1) 川口市立科学館について (2) 令和6年度事業報告について (3) 科学館利用料金の見直しについて (4) その他 ※ 閉会后 施設見学(プラネトリウム番組鑑賞・特別展視察)
公開／非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由	
傍 聴 人 の 数	1人
会 議 資 料	会議次第 資料No.1 川口市立科学館運営審議会委員名簿 資料No.2 川口市立科学館設置及び管理条例 資料No.3 川口市立科学館管理規則 資料No.4 川口市立科学館運営審議会条例 資料No.5 第5次川口市総合計画(抜粋) 資料No.6 川口市教育振興基本計画(抜粋) 資料No.7 令和6年度入館者数及び使用料等実績等 資料No.8 「使用料・手数料の見直しに関する基本方針」について等 別資料 特別展 文房具 開催報告書
審 議 経 過	別紙とし添付する。
そ の 他	

審 議 経 過 （会議録）

1 開会（午前10時07分）

2 事務局説明

- (1) 委員11名のうち10名出席で過半数に達していることから、川口市立科学館運営審議会条例第7条第2項の規程により本審議会が成立している旨、事務局より報告。
- (2) 審議会公開のため、傍聴希望者を募集したところ1名申込者がおり、入室の許可を得て入室。
- (3) 事務局より配布資料の確認。
- (4) 委嘱後最初の委員会であることから、委員自己紹介・事務局自己紹介を実施。

3 協議事項

(1) 会長・副会長の選任

仮議長に渡邊委員が事務局提案で選出され、仮議長進行により、会長に渡邊委員、副会長に郡委員が選出され、承認された。

(2) 議事録署名人の選任

会議録署名人の選任について事務局より説明。

議事録署名人を慣例により名簿順としているが、小松委員が欠席のため、星野委員と高橋委員が選出され、承認された。

(3) 会長挨拶

(1)にて会長が承認されたことに伴う、会長挨拶。

4 議題

（議事進行：川口市立科学館運営審議会条例第7条1項の規程により議長(会長)の進行とする。）

(1) 川口市立科学館について

○議長

議題(1)川口市立科学館について事務局の説明を求める。

○事務局

資料2～資料6に基づき事務局から説明。

以上議題(1)について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いがあったが質問はなかった。

(2) 令和6年度事業報告について

○議長

議題(2) 令和6年度事業報告について事務局の説明を求める。

○事務局

資料7に基づき事務局から説明。

以上議題(2)について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いに以下質問と回答がなされた。

○委員

資料27ページの太陽観測出張授業・夜間出張観望会のところで、今働き方改革や勤務に関する規制もあり、夜間に学校に行くということが難しい面があるが、小中学校の校長会でも募集しながら、理科の教員がしっかり広め、学校でもこの観測会に参加する生徒児童が増えるように頑張っていきたいと思う。

また、プラネタリウムについては、明日から始まる特別支援学級設置校の合同での投影をしていただき大変助かっている。中学校で定期的なプラネタリウムの鑑賞がなくなってしまったことについて残念に思っているが、バス等の件もあり、特別支援学級設置校の児童だけでも見られるのを継続していくことに科学館も協力していただきたいと思う。

○事務局

おもしろいプラネタリウムを昨年度試行的に一度実施した。今年度も6月に実施した。今後もニーズにお応えし、いろいろな形で楽しんでいただける教育施設を目指していきたいと思う。

○委員

25ページ下枠に、QRコードを利用して展示を分かりやすく工夫するとの記載があるが、親御さんと来た方はよいが、QRコードを読み取ることができない方、機器類の無い方への配慮や説明はどのようにしているのか。

○事務局

QRコードは追加の説明になっており、基本的には掲示物で完結している。もっと詳しくもっと深く知りたい方に対応するような新しい取り組みとして、今回冬の特別展で取り組んだ。そのような機器を持っていないことも今後検討していかなければならないと考える。

○委員

23ページの入館者数について、お伺いしたい。令和5年度の115,967人に対して、令和6年度は微減の98.8%、使用料は93.7%との説明であった。その原因は何かと思うと、令和5年度は入館者数の大人と小人の比率でいうと、ほぼ同数であるが、令和6年度は4,000人の差がついている。昨年度より、小中学生は増えているのに対して、大人が少し減り、全体としては人数が減った。

大人あるいは、成人でも科学や天文学に興味があって来館される方そういう方へのアピールはどうか。その辺の解析はあるか。

○事務局

減少した傾向と対策は今後検討していく。今回、学習利用がかなり増え、昨年度より64団体、3,100人増えた。また、幼稚園や保育所に出向く出張教室も事業回数もかなり増えた。

スキップシティでは、スキップシティをあげて旅行会社等にパンフレットをまとめて送付し、千葉県や埼玉県の遠方からも、かなり多くの団体にバスで来ていただいている。大きなバスが置ける駐車場と、食事が取れるスペースを設けていて、午前午後でスキップシティを楽しめることにも取り組んでいる。

他に、科学館を知っていただくことで、利用者数を増やしていきたいと思っている。商業施設にも出向いて行き、スキップシティに科学館があるということを知っていただく活動にも力を入れ、来年度増やせるよう試行錯誤しながら頑張っていきたいと思っている。

○委員

教員にはホームページを活用することを私は言っており、科学館の実験のホームページなどは凄く参考になる。科学館に来る取り掛かりとして、人数にはないかもしれないが、アクセス数等に変化があったのかを聞きたい。

○事務局

ホームページの学習支援コンテンツはコロナ禍から始まったもので、それも続けながら、現在では、YouTubeチャンネルでのショート動画のアクセス数も重点を置いており、YouTubeチャンネルは昨年度10本アップした。Facebookは56本アップして、リーチ数は7,395で、フォロワー数も50以上アップした。今回Instagramも始めた。様々なところから情報発信し、気軽に楽しめる科学館を、SNSを利用した形で広報を進めていきたいと思っている。数値として今回の資料には載せていないが、来年度は数値的にかなり高くなる予定で、今後見える化をし、数値としての表現をしていきたいと思う。

(3) 科学館利用料金の見直しについて

○議長

議題(3) 科学館利用料金の見直しについて事務局の説明を求める。

○事務局

資料8に基づき事務局から説明。

以上議題(3)について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いに以下質問と回答がなされた。

○議長

市で大きな流れがあり、科学館でも施設の利用料金の見直しを検討している。基本的にはこの審議会で入館料をいくらに決定するという権限はないけれども、健全な運営をするための審議会であり、料金についていろいろな立場の方々から様々なご意見をいただき、役所の方で勘案し、最終的に発表するということだと思う。

私が聞いている範囲で言うと、審議会は年2回しか開かれないので、来年度、市で施設の利用料金を見直しをするためには、今年度中にかなり早いペースで、議会等で議論して決定していくことになると思う。事務局で、最終的に利用料金をいくらにするかを考えるためにも、今日の審議会である程度皆様方の意見をよく聞いておくことは重要だと思うので、ご意見は是非活発にできればと思う。ご意見はあるか。

○委員

36・37ページの類似施設の利用料金を見て、値上げの金額は凄く妥当だと思われる。昨今の値上げから見て、私は肌感覚でむしろ遅いぐらいと思ったので、私はこの金額は妥当だと感じた。

○委員

川口市立科学館は3本柱で、展示と天文台とプラネタリウムという施設を持っていて、この3つが揃っている科学館は、それほど多くないと思う。その意味では、関東近郊の施設の中でも、川口市立科学館は中庸よりも立派なものを持っている施設だと思う。その意味でいうと、この表を見て灰色のかかった数字に比べて現行は少し安いようになっており、妥当な部分はあると思う。逆に言うと、有名どころというか古くから名の通っている科学館では、現状ならば、実質的にそれらに匹敵するような価格になっていると思うが、値上げをすると後退する感じが否めなくないと、個人的に思っている。

博学連携であることも考えると、現行、大人と小人の2種類しかないけれども、例えば、高校生を別枠で少し大人より安くするとか、あるいは、小中高にするとか、小人の分を高校生に混ぜるのは難しいかもしれないが、大人300円、小人150円にするのは妥当だと思っても、その中間に、高校生を200円とか250円とかを設定するというのは考えられないのか。料金が単に値上がっただけで入館者数が減ってしまうとか、あるいはアクティビティが下がってしまうのは大変残念なので、その辺、実態に合わせて、実質的に科学館の活動に合わせて、抑制されないような、しかも市の方針に対応できるような料金設定、すると券売機にまた設定を変えないとい

けないとかいろいろ弊害が出てくるかもしれないが、その辺多様な料金設定もいいかなと私は思った。

○委員

先程の来館者数の数を考えると、大人のファンを増やさないとなかなか経営的にもうまくいかないのかなと感じて見ていた。そのような取り組みをされているのか。大人の方が定期的に来てくれることが入場料も入ると思う。

○事務局

プラネタリウムに関しては、年4回番組があり、楽しみに来ていただいている方もいたり、七夕やクリスマスの時季に特別投影をしている。特別投影は、昨年度より、大人向け・子ども向けと、別の日にちを設定して実施している。

太陽観測もそうだが、大人向けの天体撮影実習も実施している。

展示ではワークショップで、お子様連れだとなかなかじっくりできないということもあり、別室を設けてそこでゆっくり、手作りのアートなどを開催する形で、個々にテーマを分けて、大人向けの企画事業も実施している。

天文講演会などでは、160席あるプラネタリウムのドーム内で、少し専門的な講演会となっており、JAXAの方であったり、昨年は国立天文台の教授をお呼びした。

対象者に合わせいろいろな工夫はあるが、今後もホームページや、インスタグラムを取り入れながら、更に大人の方にも気軽に来ていただける料金を設定したい。

○委員

単純に高校生の入場者数の統計は取られているのか。

○事務局

大人料金一般として一律に扱っているため、入館時に年齢や在学状況を確認する体制がない。インストラクターが受付業務をしているが、新たに高校生を区分として設ける場合には、学生証などの提示を受け確認が必要となることもあり、チケット発券までに1対1で対応するところに時間がかかることで、お客様をお待たせしてしまう可能性があると思われる。それが検討している中で大きな課題である。

高校生を一般とし、広く均衡を図る観点からも現時点では、高校生料金の新設を見送っているが、利用者の動向や皆様のご意見から、柔軟に検討していくことも必要かと考えている。

○委員

基本的に他の市と比べても入館料が上がることは賛成というか、今の時代から考えてもしょうがないと思う。最終的には市民の皆様に、例えばコンテンツの充実や施設の改善・維持を可視化、お示しできれば十分ではないかと思う。値段もこのぐらいでいいかと思う。一つ単純な

疑問として、こんなことができるのかなと思ったのは、子どもは一律でいいと思うが、例えば、大人の方で、市内・市外の方ともう少し区分ができると、運営の仕方も変わるのではないかと思う。収入も変わってくるのではないかと思う。

○委員

年間券について、親として見ると、4回分ちょうどというより、4回来れば得なんだという、少しお得感がある値段設定であればいいなと思った。利用する方の思考のような、少し計算が難しい面倒になる部分はあるかと思うが、今スマホ決済というところもあるので、そのようなこともできるかなという感じで値段設定されるのも一つの策かなと思う。

○議長

かなりいろいろ議論は出たと思うので、是非、事務局の方でベストな案を作ってもらえればと思う。

(4) その他について

○議長

議題(4) その他について事務局より何かあるか。

○事務局

事務局より2点あり、1点目はSNSの強化についてである。科学館では、これまでSNSとして、FacebookとYouTubeを行ってきたが、広報活動の強化策として、新たにInstagramも始めた。委員の皆様にもよろしければフォローをお願いしたい。

7月1日から8月31日までSNSキャンペーンも実施している。科学館でこんなキャンペーンやっているよと広めていただければと思う。今後も、科学館では様々な広報活動を推進していく。

2点目は次回の審議会日程についてである。

例年だと来年1月末～2月上旬頃を予定している。よろしくをお願いしたい。

以上議題(4) その他について事務局からの説明があった。

議長より事務局の説明において、質問等があるかとの問いがあったが質問はなかった。

○議長

なしとのことなので、これで議長の任を降り、進行を事務局に戻す。

5 閉会（11：35） 副会長挨拶

6 プラネタリウム鑑賞（11：50～12：20）

展示室視察（１２：２５～１２：５０）

７ 終了